



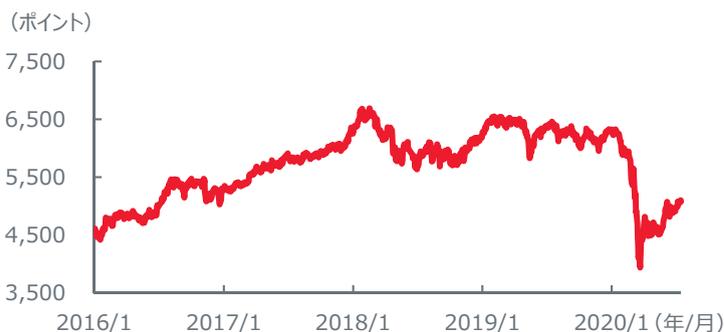
Indonesia Weekly

2020年7月20日



(対象期間：2020/7/13～2020/7/17)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年7月17日)



【株式市場】

インドネシア株式市場は週間で上昇しました。週初は首都ジャカルタでの新型コロナウイルスの感染者数の急増や外国人投資家の資金流出にもかかわらず、政府の銀行に対する流動性支援などを好感し、銀行株を中心に株式市場は上昇しました。16日、インドネシア中央銀行（BI）は0.25%の利下げを行いました。市場予想通りであったことから、株式市場の反応は限定的でした。セクター別では、プランテーション株、たばこ株などが堅調となりました。

2020/7/10	2020/7/17	変化率
5,031.26	5,079.59	+0.96%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年7月17日)



【債券市場】

14日の定例の国債入札の応札額は前回を下回りやや弱い結果となりました。入札結果の発表後、インドネシア10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。16日、BIは0.25%の利下げを行いました。政策決定会後の会見でBI総裁は追加利下げについては今後の経済指標次第と慎重な姿勢を示しました。17日には、利益確定売りや通貨ルピアの下落を背景に売りが優勢となりました。週間で利回りは低下しました。

2020/7/10	2020/7/17	変化幅
7.078	7.067	-0.011

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年7月17日)



【為替市場】

15日発表の6月の貿易収支は前年同月比1.27億米ドルのプラスと前月に続き黒字となりましたが、市場予想とほぼ同じだったことから市場への影響は限定的でした。16日、BIは0.25%の利下げを行い、今後の利下げについては慎重姿勢を示しましたが、新型コロナウイルスの感染者数が急増していることや、BIによる政府の財政負担などへの警戒感から売りが優勢となり、ルピアは対米ドル、対円ともに下落しました。

2020/7/10	2020/7/17	変化率
0.7387	0.7263	-1.68%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがあります。将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売上の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

